

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第62回 ビジネス文書実務検定試験 (1.6.30)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第62回 ビジネス文書実務検定試験 (1.6.30)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

地元を散歩する際に、ペットボトルやアルミ缶などが落ちていることがある。しかし、それらを気にせず通り過ぎる人も多い。そこで、住民の意識を変えるために、拾うことを競うスポーツごみ拾いが考案された。	30 60 90 98
この競技は数人でチームを組み、審判員の指示やルールを守ってごみを拾い集める。その量と質を基準に点数化し、合計点で順位を競う。安全面にも配慮しており、流れの急な河川や通行量が多くて危険な大通りなどでは、拾うことを認めていない。	128 158 188 212
スポーツごみ拾いの特徴は、同じ地域に住んでいる人々と交流しながら、環境問題に取り組めることである。この競技が日本中に広がり、多くの人々が地元を目を向けて、環境に対する意識が向上することを願いたい。	242 272 302 310